記者発表資料

平成２６年１月２７日
国土交通省郡山国道事務所
福島県喜多方建設事務所

国道１２１号　会津縦貫北道路の開通区間が伸びたことで病院へのアクセス性向上や会津地域の観光振興に貢献

郡山国道事務所では会津縦貫北道路の整備を進めており、平成２５年９月８日に湯川北ＩＣ～湯川南ＩＣ（２．２ｋｍ）が新たに開通しました。これまでの開通区間７．９ｋｍを含めると合計１０．１ｋｍが通行可能となりました。

この度、開通４ヶ月後の整備効果についてとりまとめましたのでお知らせします。

１．喜多方市からの救急搬送ルートとして会津縦貫北道路が定着

２．会津地域の観光期の交通がスムーズに

＜発表記者会：郡山記者クラブ・会津若松市記者クラブ・喜多方日刊新聞記者クラブ＞

【　問い合わせ先　】

国土交通省　東北地方整備局　郡山国道事務所（事業担当）
TEL　０２４－９４６－０３３３
技術副所長　佐藤（さとう）　実（みのる）　（内線：２０４）
調査課長　佐藤（さとう）　幸喜（こうき）　（内線：４５１）

福島県　喜多方建設事務所（管理担当）
TEL　０２４１－２４－５７１９（直通）
管理課長　白石（しらいし）　正俊（まさとし）

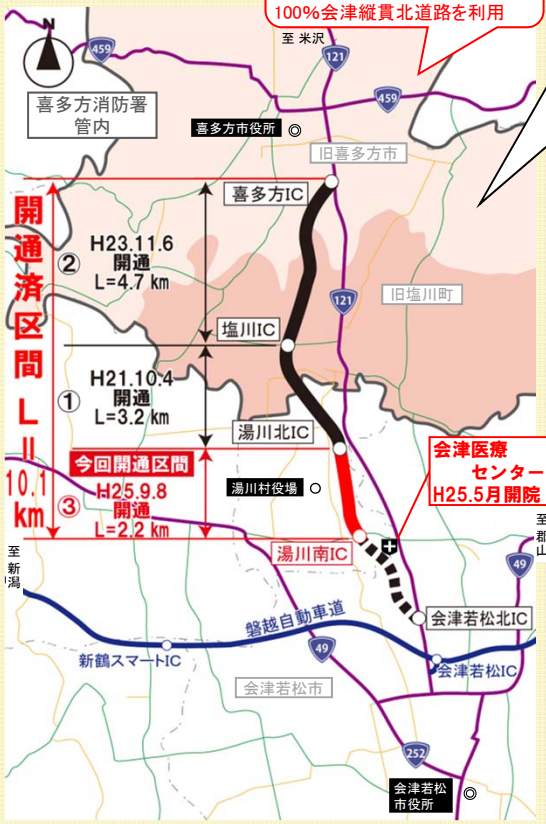
開通4ヶ月後　国道１２１号　会津縦貫北道路

会津縦貫北道路が開通して

（平成２５年９月８日　湯川北IC～湯川南IC間開通）

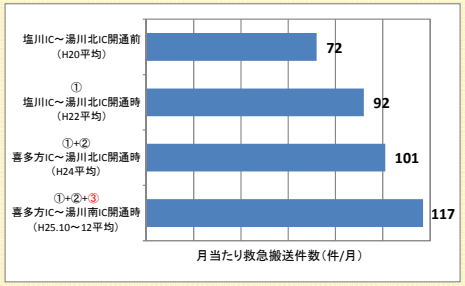
① 喜多方市からの救急搬送ルートとして定着
② 会津地域の観光期の交通がスムーズに

①喜多方方面から会津医療センターへのアクセス性の向上により、救急搬送ルートとして利用され、さらに通院者の利便性も向上しました。

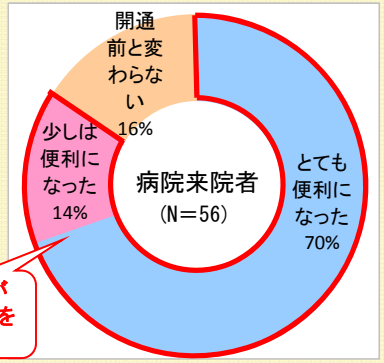


●旧喜多方市エリアでは会津縦貫北道路の利用距離が伸びて便利になった。
●救急搬送中に会津縦貫北道路を利用することにより、ブレーキ使用が少なくてすみ、搬送中の傷病者への負担が少なくなった。
（喜多方消防本部　ヒアリングH25.１０）

▼救急搬送件数の推移
喜多方消防署管内　→　会津若松市内の病院



Q．会津縦貫北道路（喜多方IC～湯川南IC）の開通で通院は便利になりましたか？

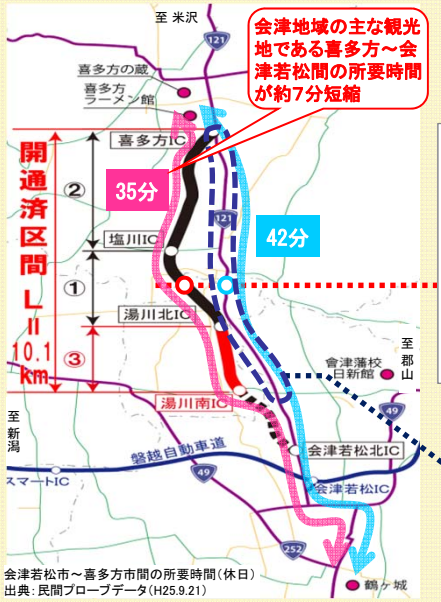


約8割が利便性を実感

※喜多方市・湯川村・北塩原村居住者を対象に集計
会津医療センターヒアリング調査（H25.10.28・29）

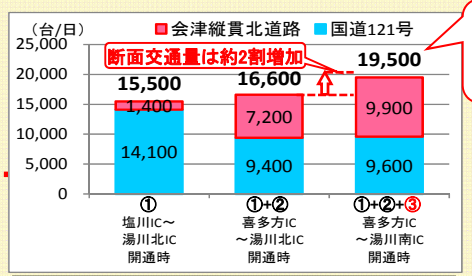
《会津医療センター通院者の声》
- 湯川南ICから下りてすぐなので分かりやすかった。
- 道路が広く急なカーブも無いのでスムーズに走れる。

②観光地へのアクセス性が向上し、会津地域の観光期の交通がスムーズになりました。



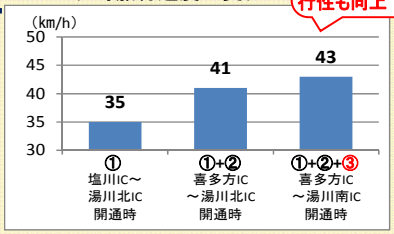
会津縦貫北道路（湯川北IC～湯川南IC）の開通で、休日の断面交通量は約２割増加、会津縦貫北道路の交通量は約４割増加

▼会津縦貫北道路と国道121号の交通量の推移



（調査日）塩川IC～湯川北IC開通時：H23.10.30（日）
喜多方IC～湯川北IC開通時：H24.11.4（日）
喜多方IC～湯川南IC開通時：H25.11.3（日）

▼国道121号（現道部）のピーク時旅行速度の変化

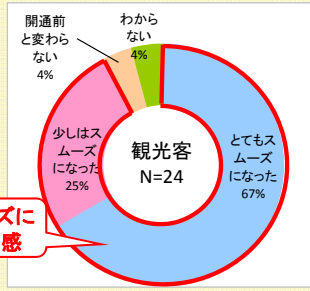


会津縦貫北道路の開通で現道部の走行性も向上

（調査日）塩川IC～湯川北IC開通時：H23.10.27（木）
喜多方IC～湯川北IC開通時：H25.8.28（水）
喜多方IC～湯川南IC開通時：H25.9.11（水）

《観光バスドライバー・バス事業者の声》
- 休憩・滞在時間に余裕ができるようになった。（観光バスドライバー）
- 目的地に予定した時間通り到着するようになった。国道121号（現道）で運行している路線バスも交通の分散で開通前に比べ定時性が確保されるようになった。（観光・路線バス運行会社）

Q．会津縦貫北道路の利用で、観光周遊はスムーズになったと感じますか？



約9割がスムーズになったことを実感

《観光客の声》
- 信号がなく、スムーズでした。
- 混雑していなくて良い。
- ほぼ直進で運転が楽になりました。

観光施設（喜多方市内）ヒアリング調査（H25.11.3（日））